Kamagaya International Friendship Association

K·I·F·A Plaza

第43号

2001年（平成13年）11月30日
発行：鎌ケ谷市国際交流協会
〒273-0195　鎌ケ谷市初富928-744
TEL　047-445-1141（内550）
FAX　047-441-9400
http://www.kifa.gr.jp

KIFA booth in Kamagaya Summer Festival

市民夏まつり『青少年の参加が目立ったKIFAブース』

青空に映える色とりどりの万国旗、そしてよしずで囲ったKIFA（鎌ケ谷市国際交流協会）のブースは周りの売店とは呼び声も雰囲気もちょっと変わっていた。「クイズに答えて賞品をゲットしよう」、この呼び声に誘われ、あちこちのパネルの前に答えを求めて、鉛筆とクイズ用紙を手にした人だかりが出来た。

KIFAの主な活動案内のイラスト図、姉妹都市ワカタネと鎌ケ谷の比較図、そして市内在住の外国人の国旗を貼り付けた世界地図をＰＲの主目的にして、展示した。ブース内には会員からお借りした民族衣装も人の目を引くのに十分だった。ブースを訪れてくれた外国人には、ハッピを身に付けての写真撮影サービスも例年どおり好評だった。

KIFAが一体何を意味し、どんな活動をしているのか、関わったことの無いひとにはその存在をまず知ってもらいたい、KIFAという名称を世間一般に広く認知してもらいたい、姉妹都市に関心をもってもらいたい、との思いからKIFA夏まつり実行委員のアイディアを結集したブース作りだった。

さぁ、ここで皆さんにもクイズに挑戦していただきましょう。

質問１　ワカタネはどこの国にあるでしょう？
質問２　ワカタネと鎌ケ谷の関係は？
質問３　質問２の関係はいつからですか？
質問４　ワカタネの面積は鎌ケ谷の約何倍ですか？
質問５　鎌ケ谷の人口は約10万人です。ワカタネの人口は?
質問６　鎌ケ谷は梨が特産品ですが、ワカタネの主な産業は何ですか？
質問７　KIFAとは何の略称ですか？
質問８　KIFAの事業は何ですか？

果たして何問正解できますか？６問以上正解なら、あなたはKIFAのエキスパートです。５問以下のかたはもっと、どっぷりKIFAに浸かってください。あなたのまだ知らないKIFA事業への参加をお待ちしています。

（KIFA夏まつり実行委員長）

答１　ニュージーランド
２　姉妹都市
３　1997年
４　222倍
５　３万人
６　酪農（乳製品）
７　鎌ケ谷市国際交流協会
８　語学講座、会報（KIFA　Plaza）発行、市内在住外国人との親善、交流

バーベキューで楽しむ国際交流

9月16日の日曜日、前夜の雨も上がった清々しい市民の森で今年も恒例のバーベキューパーティが行われた。小雨にぬれた木々の緑はひときわ美しい。KIFAの荻交流部会長の挨拶もそこそこに、既に煙が立ち上がりはじめた。

ビールやワインなどで乾杯した後はせっせと炭火で焼き始める。初めて参加する方々はウロウロすることもあるけど、そこは手馴れた人たちがお世話をするから心配することは何もない。同じ料理でも、家で食べるのと野外で食べるのとでは全く違うから不思議なものである。誰もが幼い頃から経験している「おにぎり」がその代表的なものかもしれない。まして森林の中で多くの人たちとのバーベキューパーティは、独特の雰囲気と楽しさがあり、食も進む。そして、あちこちで会話もはずむ。

適度にアルコールが入ると更に気分は爽快になる。鎌ケ谷ニューボーイズの演奏もまた雰囲気を盛り上げる。我々から見ても、隣国の中国人と韓国人とを見分けるのは難しいものである。中国人と思しき人に「ニーハォ!」と話しかけてみる。返事が同じであればホッと安心し、グンと親近感が増す。韓国の人には何て言おうかな、と酔った頭をフル回転させてみる。そうだ!「アンニョン・ハセヨ」だったなあ、と、やっと思い出すことになる。あちこちで、そんなことを皆さんがやっている。習ったばかりのスペイン語や英語も飛び交う。国際交流とは、このような些細な会話から始まるのかもしれない。常々思うことは、日本に来て間もないのに流暢な日本語を話す外国人が多いことだ。生活に密着することとはいえ、その上達の速さは素晴らしい。

この日、母子で来ていた中国人の方がおられた。お母さんは、まだ日本語がそれほど上手とは言えなかったけど、娘さんは中文も日文も達者なものだ。こちらの間違いも、しっかりと通訳してくれる。パーティが進むにつれてアトラクションが始まった。最初はビンゴゲームだ。上手く出来たもので、これがなかなか当たらない。でも、参加者全員の皆さんに景品が差し上げられて良かった。輪投げ遊びもあった。ごくごく単純な遊びなのに上手くいかないところが面白い。アメリカ、カナダ、ニュージーランド、イランの方々や中国、韓国その他いろいろな人たちもそれぞれが挑戦して楽しんだ。遊びはどこの国もみな同じだ。

そしてニューボーイズ(オールドボーイズかな)の軽快なバンドが奏でられる中、愉快なダンスらしきものが始まった。皆さんお年?のわりには、身体が結構しなやかに動くものだ。日頃どこかで練習しているのかもしれない。このようにして、アッという間に市民レベルの人たちによる国際交流の一日は終わった。帰路につく各国の皆さんの満ち足りた笑顔に、来年もまたお会いしたいものである。

外国語に親しむ会

10月21日の日曜日、南部公民館において講師交流会に引き続き「外国語に親しむ会」が開催された。来年度からの小中学校の週休2日制導入を前に、在日外国人の方々による各国教育関連のお話がテーマ。パネラーはドイツ、中国、スペイン、アメリカなど4カ国の方々である。通訳は、昨年ドイツ語講座に参加した星野さんと英語は通訳ボランティアの添野さんにお願いした。

ドイツのお話は、アネッテ・植松さんが流暢な日本語を織り交ぜてドイツの教育について語る。幼稚園発祥の地はドイツ。3歳から6歳までの子どもの約70パーセントが通うが、大半の子どもたちはバスを使わずに徒歩で行くという。義務教育は6歳から18歳までだが、勤勉で知られ、かつ教育環境の整ったドイツでは、家庭を持ってから大学で学ぶ女性も多いとのお話だった。

中国の教育事情は、7年前に来日して日本商社に勤める占志強さん。お国での勉学は幼い頃から激烈を極めるといわれる。個人の意欲が最も重要視されており、運動会も陸上競技の大会と同じで成績に反映されるという厳しさ。一人っ子政策が始まった1978年からは子どもは一人しかいない。一人っ子たちは「小皇帝」と呼ばれ、大切に育てられている。たくましさが失われ、幼い頃から甘やかされることで問題化しているとのことであった。

スペインの小学校は9時から3時迄で、7歳から8年間が義務教育。小学校低学年では授業中に先生に対してのイタズラ遊びがあるそうで、講師のクリスティーナ・ロペスさんは聴衆の方々を生徒に見立てて実演させた。皆さんは、生徒の立場で振舞をせねばならず爆笑の渦となった。

占さん

最後はアメリカのヘザー・ファーマンさんで、日本に来てまだ2週間。21歳の若さ。このたびKIFAの英語中級クラスの講師を担当されることになった。5歳からのご自分の教育過程を話されたが、最終学歴は空軍士官学校卒という米国でも数少ない異色の女性パイロットでもある。ここで一服、休憩時間を利用しての肩ほぐし体操は、鎌ケ谷ボーイスカウト連盟から参加した女性の指導による「線路は続くよ」を唱和しながらリラックスタイムを楽しんだ。このあと、各国の講師を囲んでの懇談会では時のたつのを忘れてしまう程、皆さんそれぞれに熱の入った交歓となった。

クリスティーナさん

アネッテさんを囲んで

ヘザーさんと一緒に

日本語ボランティア研修会

9月1、8、22日の3回にわたり、川端芳子さんによる「みんなの日本語」の文型ポイントを研修しました。

まなびぃプラザに現役ボランティアの方や、これから始めようとする方、また近隣の松戸、船橋市からの参加もいただき、32名の活気ある勉強会となりました。川端さんのアクティブな講義についひきこまれ、日頃なにげなく話している日本語の文法的な用法を外国語としてとらえた時の理解の仕方、納得のいく用例など数多くのことを学習し、今後の日本語講座に活かされることを実感しました。

軽やかな動きが素敵な川端さん

〈そば打ち体験に挑戦するワカタネ市民〉

「第5回ワカタ

《今後の交流の広

今年がKIFA（鎌ケ谷市国際交流協会）結成15年、及びワカタネ市との友好都市提携締結５年の節目となることから、昨年に続いて親善訪問団を派遣することにした。特に今回は中学生の派遣や（仮称）鎌ケ谷ガーデンの調査に時期を合わせた。

更に、事前にこちらの希望する交流内容をワカタネ側に連絡しておき、対応できるものを準備してもらう等の作業を行っておいた。

出発の８月22日は台風が房総半島に接近すると言うので、飛行機がキャンセルされるのではないかと懸念されたが、我々の願いが通じたのか午後には台風の進路は、大きくそれて、総勢26名は関係者に見送られて、市役所より成田に向った。

10時間の夜間飛行と５時間のバス旅行は楽ではなかったが、予定通り翌日夕方にはワカタネ市役所に到着し、そこで簡単な歓迎会が行われ、それぞれのホームステイ先やホテルの宿泊先にわかれて行った。

十分に英語も解らないままにホームステイに飛び込み、苦労をしながらも意志疎通を図ったり、野生の孔雀一家が朝の散歩に来るような牧場の中の一軒家に宿泊し、ホームステイ先を相互訪問したりと、日本に居ては決して体験出来ない４日間を過ごすことが出来た。

昼間には、近くの小学校を借りてそばを打ち‘そばサラダ’にして味わってもらい、相手側からは特産のムー

〈ワカタネの人達と合同演奏〉

〈ワカタネ市役所前で関係者全員〉

〈コヒポイントから

ワネ親善訪問

がりを期待して》

ル貝のワイン蒸しを作ってくれて食文化の交流会を行った。市民劇場での生け花や音楽の合同演奏で交流を深め、ダンスや伝統芸能を通じて相互に文化の相違を確認する時間も十分に持てた。

その他にも、幼稚園を訪問し、各園児の誕生日が卒園式となり、翌日一人で小学校の入学式になる制度には驚いた。組織培養でニュージーランドの森林事業を支えている育苗工場を見学し、有意義かつ楽しい親善訪問となった。ワカタネ市と鎌ケ谷の規模の相違から、今すぐ実行とはならない点もあろうが、何時の日かボーイスカウトやガールスカウトを始め、スポーツ、文化、産業などの団体との個々の交流会が生まれてくるのも遠くないと確信出来た親善旅行だった。

今回の親善訪問が短い準備期間にもかかわらず。手際よく大きな成果があげられたのは、行政当局の適切な指導、支援があり、先輩方々の交流の積み重ねがあったことを忘れてはならないと思う。

それにも増して我々の受け入れ準備をしてくれ、４日間も我々に付き合ってくれたワカタネの人々の協力なしには、到底達成されなかったことであり、関係者の皆さんにこの紙面を借りて厚くお礼を申し上げると同時に、この感激を忘れずワカタネとの友好親善の為に、出来る限りの協力をして行こうとの意を強くした。

〈中学生から記念品を受けるハモンド市長〉

〈ホームステイ先を相互訪問しての楽しい交流〉

〈市民ホールに集まった人々〉

見たワカタネ市〉

ほほえみの国タイ

関野 チャナンヤ

สวัสดีค่ะ サワディカー（女性用語）

สวัสดีครับ サワディクラップ（男性用語）

＝（こんにちは）

こんにちは。私はタイのバンコクから来ました関野チャナンヤです。日本に来て約２年になるところです。１年に１度、父母兄弟や親戚に会う為に帰ります。

タイはアジア大陸の一部で斧の形をしています。近隣には西側にミャンマー、東側の北部にはラオスと南部にはカンボジアで、ゴールデントライアングルと呼ばれる地帯があります。国境をメコン川が流れています。

タイは北部、東北部（通称イサーン）、中央部、南部に分けられ、首都バンコクは中央部で国王がいらっしゃいます。現在の国王はプミポン国王（ラマ９世）です。今年で在任55年になり、国民に“ナイルアン”と呼ばれて“父”と親しまれています。国民のほとんどは仏教徒ですが、その他にイスラム、キリスト、ヒンズー、バラモン教等を信じている人もいます。タイの季節は３つに分けられます。７月～10月迄が雨期。11月～２月迄が寒期で気温が低く、乾燥した気候です。３月～６月迄は暑期で非常に暑く、特に４月中旬は40度位まで気温が上がります。タイには沢山のしきたりや習慣があります。例えばソンランです。これは新年を祝う昔からのタイ正月で、人々は功徳を施したり、僧侶が托鉢する時に食べ物をあげ説教を聞きます。又自分が尊敬する僧侶や大人から体に水を掛けてもらいます。若い人達は互いに水を掛け合い、遊びとして楽しんでいます。それからタイ文化のひとつに“ワイ”の習慣があります。これは手を合わせ、指先を顔に付けるのですが、相手が僧侶や大切にしているもの（寺院等）には指先をおでこの上に付けます。自分より目上の人に対しては指先を眉の間に、又同年配の人には鼻の頭に指先を付けます。男女共に行っているタイ文化の象徴と言えます。目上の人から先にする事はありません。タイ人は頭には神様がいらっしゃる高貴な部分、足は低級な部分と信じています。普段子供達が遊ぶ時も男の子は女の子の股をくぐったり、足を使った遊びはしません。それは行儀が悪いという意味の他に、男の子は大きくなってから出家する時に良くないと考えるからです。出家をすると言うのは法律で決められている訳ではないのですが、タイの男性は若い内に僧になる為の勉強（読み・書き・知識）が出来る様になるとサームマネーンという地位の若い僧として出家します。又20才を過ぎてしまうとプラピクスソンという地位で出家します。出家の期間は１週間～10日、又は３ヶ月、中には一生と様々です。僧として大切な事は絶対女性と接触してはいけないという事です。物を女性からもらったりする時でさえも、直接手渡しではなく布を一枚敷かなければなりません。タイの男性は法律で17才になる前に徴兵され、20才迄兵隊として過ごします。タイの兵士は自らを犠牲にするのは当然と教えられています。その為どんな小さな事でも家族と家事を分け合う事は嫌がらず喜んでいます。これはタイの社会は慈愛と美徳は基本と考えられているからです。タイの人々は良く微笑むので“微笑の国”と言うニックネームを付けられています。皆様タイの国について少しはお分かり頂けたでしょうか？

バンコクの寺院

（翻訳：通訳ボランティアの桑野さん）

ホームステイを受けいれて10年

小川　すみ子

平成元年、KIFAが誕生した次の年の夏休みにアメリカから18名の少年少女がホームステイで来日しました。その一人で、Jody・Wagnerという無口なオレゴンの少女を受け入れました。私の好奇心と我が家にも同世代の娘が居たので、少しでも英語に興味を持つかな？という気持ちでした。挨拶も出来ない家族でだいじょうぶかなという不安な気持ちのなか３泊４日のホームステイは無事おわり、彼女をきっかけにその後10名くらい受け入れました。

Jodyとは文通を続けて13年になります。彼女は同志社大学に１年、ＡＬＴで札幌に１年滞在しましたが、我が家にはかならず泊まりに来ました。ご両親も来日され案内した房総の村を大変喜んでくれました。Jodyが札幌に居る時、私の長女が結婚したので式にも出席してもらいました。また私も彼女を受け入れた次の年に訪問、その４年後次女を連れてオレゴンに15日間滞在しました。中５日間はこれもホームステイで受け入れたジェニィの家、カナダのバンクーバー島に行きました。

昨年12月28日、Jodyは結婚式に招待してくれました。中井貴一が結婚式を挙げた教会で、映画のワンシーンのような式でした。パーティでは生バンドの演奏で新郎も新婦も深夜まで踊り、中程で私達のプレゼントの箱を私に開けさせ、16才で日本に行って人生が変わりましたという彼女のスピーチに感激しました。また４ヶ月間受け入れて上智大学に留学したワシントン出身のディアラには（今、法務省で働いていて細川元総理大臣の通訳もしたそうです）人種差別の意味を教わりました。「人を理解するのはその人の気持ちにならなければいけない」彼女の言葉は印象的に心に残っています。私は英語がまったくしゃべれなかったのに夢のような経験をさせてくれたKIFAに感謝します。

オーラ　エスパーニャ!!

鈴木　浩子

伊勢志摩のスペイン村で見たフラメンコに魅せられ、早速習い始めて早４年。ぴちぴちギャルに混じっての銀座スタジオ通い、還暦すぎには過酷なまでのレッスンでした。その間スペインへの憧れは日増しにつのり、KIFAのスペイン語講座を10ヶ月間受講しました。劣等生の私も、チャーミングで優しいクリスティーナ先生のおかげで簡単な挨拶と数字だけは覚えました。これで買い物はばっちりかな？

ミハスの町並で

13年前の寒い１月の旅に比べて、今度はゴールデンウィークでの夫との旅です。バルセロナからアルハンブラ、コスタ・デル・ソル、セビリヤからは新幹線でマドリッドへの８日間のコース。一番のお気に入りは南海岸近くの丘にある小さな町ミハス。ロバの馬車が通ります。真白い小さな家がたち並び、窓辺に赤や緑の鉢植えが可愛い素敵な街。思わず赤いコートをなびかせくるりくるりとフラメンコ。まるでお伽の国のヒロインの気分でした。セビリヤの町はお祭りの真っ最中、山高帽のハンサムな御者が着飾った女性たちを得意げに馬車に乗せ、子供たちまでがフラメンコ衣装で広場に急ぎます。私も仲間に入って、現地の人たちと踊るのが夢だったのに、ここがツアー旅行の悲しさ。よし今度は個人旅行にするぞ。マドリッドでは待望のフラメンコ衣装店で大好きな紫のドレスを買い、裾上げを頼み、仕上がり約束の時間を過ぎること１時間。飛行機の時間が迫っている事情の説明は私のスペイン語ではお手上げ、英語が片言の店員をやっと探して四苦八苦。息せき切って間一髪セーフ。日本の常識が通じない一幕でありました。

今、体力低下でフラメンコは休止中。紫のドレスも寂しそう。でも私の心ははや太陽の国イタリアへ。

ビバ（万歳）カンツォーネ!! ワイン片手にトスカーナで歌うのだ!!

国際交流に関する
あなたの体験、ご意見を
お寄せください。

投稿規定：25文字×30行以内。題名、住所、年令（学年）を明記の上、事務局（市役所5階）まで。
掲載された方には、記念品をお送り致します。

鎌ヶ谷市国際交流協会に
特別感謝状が贈られました

去る10月6日、「鎌ケ谷市市制30周年記念式典」に於いて市の発展に貢献したとして、KIFAに特別感謝状が贈られました。
1988年4月設立以来、「人と人、心と心のふれあいにより国際交流を推進していこう」というボランティアの方々に支えられ、鎌ケ谷市における民間レベルでの国際交流団体として活動し、今日に至っています。この受賞の喜びを皆さんでわかちあいたいと思います。

Notice

タイDAY
国別交流会

日時：平成13年12月2日(日)
午後2時～4時
場所：まなびぃプラザ

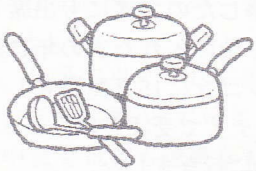
講演とタイのお茶とお菓子を味わいながらタイの魅力にふれるひとときを

講演会のお知らせ

日時：平成13年12月9日(日)
午後1時30分～3時
場所：鎌ケ谷市総合福祉保健センター6F
講師：波多野敬雄氏
(元国連大使)
テーマ
「日本の常識・世界の非常識」
皆様の参加をお待ちしております。

料理講習会

日時：平成14年1月27日(日)
場所：南部公民館
詳細は未定



語学講座合同閉講式

日時：平成14年
2月17日(日)
場所：鎌ケ谷市
総合福祉保健
センター6F

各講座の1年間の発表の場です。

We did it

日本語講座校外学習会

10月28日(日)総勢27名で養老渓谷へ向けて出発です。今年で4年目。毎年参加する人、来日3週間目の人、日本語が話せる人、そうでない人と様々です。バスの中でも熱心に日本語のテキストを広げたり、文字当てゲームやビンゴの数字、しりとり等、何でもがいい勉強になります。勿論日本語の達者な人達は、このバス旅行を大いに盛り上げてくれます。昼食前は釣り堀で鱒釣り。初めての人もいて歓声も上がります。食後はお国の歌や踊りで交流。大多喜城見学は予報通りの雨。でも雨のお城もなかなか風情があってと思うのは日本人だからでしょうか。

フレンドリー英会話講座の開講

10月4日から10回コース60才以上の方が対象のフレンドリー講座です。まなびぃプラザに増田千佳さんを講師に22名の受講生でスタートしました。

Hello,nice to meet you.　　受講生　安田　典子

フレンドリーの方々との出会いに、大きな喜びを感じました。講師の方も皆さんもとても流暢に話すので、私は冷や汗のかきっぱなしです。言葉はお互いを理解し合う為の便利な道具の1つであり、英会話を通してより多くの方々との交流が広がれば楽しいと思います。

外国人講師派遣(南部小・中部小)

10月31日、南部小学校3年生の授業で「ぼく・私は地球人」の講師としてニュージーランドとシンガポールのお二人が担当。教えてコーナー、質問コーナーに続きゲームでは、名刺交換を英語であいさつしながら国際人としての練習。11月1日中部小学校6年生の授業では、「わたしたちのアジア」の講師として中国、韓国、フィリピン、タイ、ミャンマーの5人の方がクラス別に担当。それぞれの国の文字や音楽、ゲームなどを教えてもらい、アジアが一段と身近に感じた様です。

第10回あびこ国際交流まつり

10月28日(日)あびこショッピングプラザで、「第10回あびこ国際交流まつり」が我孫子市国際交流協会と我孫子市主催で開催され当協会からも参加しました。和室では茶席や和服・民族衣装の着付け、ギャラリーでは各国お国自慢(民族衣装、玩具、雑誌、新聞、手品など)の展示等があり、多目的ホールでは、交流パーティが催され多彩なアトラクション、全員による盆踊り、サンバ等で参加者が400名をこす盛況でした。

編集後記

初冬の候となりました。新しいスタッフも加わって2号目、KIFA Plaza第43号をお届けいたします。少しずつでも前進していきたいと思っておりますので、皆さまのご意見ご感想をお待ちしております。

(C·W)